



議会報告会 2024

【経済建設委員会】

所管事項：市民部、産業部、建設部、都市整備部、上下水道部の所管に属する事項

委員長：青山 繁 副委員長：中根文彦

委員：中村真一 鈴木正章 神谷雅章 黒辺一彦 佐々木映美

主な議案等の審査状況

- 西尾駅東駅前広場の整備事業
 - 西尾未来共創拠点「ニコラボ」
 - 名鉄西尾・蒲郡線対策事業
- } 審査状況などを報告

質 疑 等	市 の 答 弁
LINE通報システム導入による業務量は	より早く道路の穴ぼこなどの補修ができ、事故を誘発するような支障物件を事前に補修できるなど大変有効。ほぼ職員対応のため業務量は増加傾向にある。 (15~20件/月)
河川防災ステーションの施設稼働の実績や効果的な活用は	実績は、水防訓練や川と海のクリーン大作戦、防災ヘリコプターの訓練会場として利用。効果的な活用は、水防災に関する防災学習と併せた分派堰(ぜき)の見学も実施したい。賑わい創出のための周辺の交流拠点を結ぶウォーキングやランニングコースの整備も実施していきたい。
旧吉良支所解体関係工事の詳細は	旧吉良支所、旧吉良町公民館など、各建物の躯体解体工事、内装解体、設備撤去外壁等アスベスト除去工事などで、解体後は敷地内の整地を予定。
マイナンバーカードの登録者数と今後の登録推進策は	令和6年2月末現在で、12万6,336枚、人口に対する保有枚数率は74.2%です。施設入所の高齢者などを施設職員が支援した場合の報奨制度の開始や個別訪問型の出張申請支援なども引き続き行う。
学校茶摘み継続支援事業費補助金の増額理由は	近年は手摘みではなく、機械刈り茶園が増加し、物価高の影響もあって、受け入れ農家の費用負担が増加。学校茶摘みは80年を超える歴史を誇る伝統行事でありこれまで同様に継続し、後継者の育成と茶業の振興を図るためである。

令和6年度「西尾駅東駅前広場整備事業」

まちなかにぎわいパートナー事業での、社会実験で使用した公共空間は

①西尾駅東駅前広場 ②みどり川左右岸 ③西尾駅西多目的防災広場



西尾駅東駅前 広場整備事業

3つの公共空間社会実験

■評価

- ・70団体の参加
- ・170以上のキッチンカーのマルシェ
- ・2万3千人以上の来訪者

■フィードバック

- ・周辺住民アンケート
 - ・フリートーク
- ⇒公民連携の推進

西尾駅東駅前広場整備事業



2階建駐輪場構想



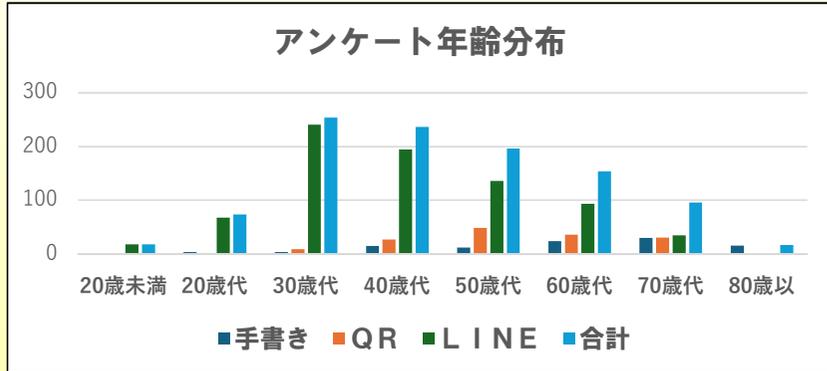
面積1,500㎡
950台(97%)



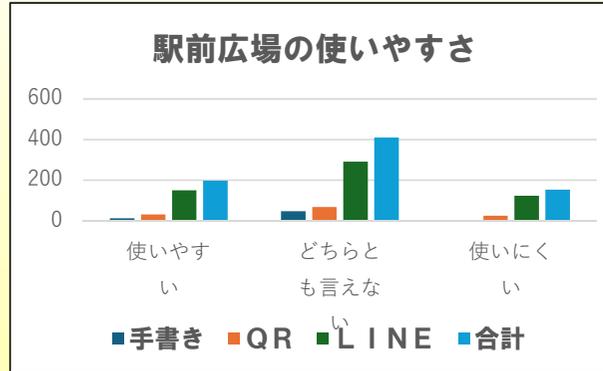
活用しやすい・利用しやすい広場
 ■これまでの賑わい創出活動を踏まえ
 効果検証を行う
 ・各種団体・周辺住民意見のすいあげ
 ⇒誰もが気軽に利用でき、楽しい
 時間が過せる拠点づくり

西尾駅東駅前広場アンケート結果

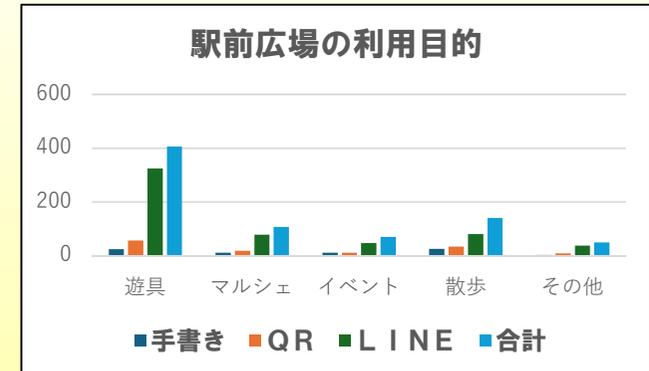
回答者：近隣町内会、西尾市公式LINE登録者
イベント参加者



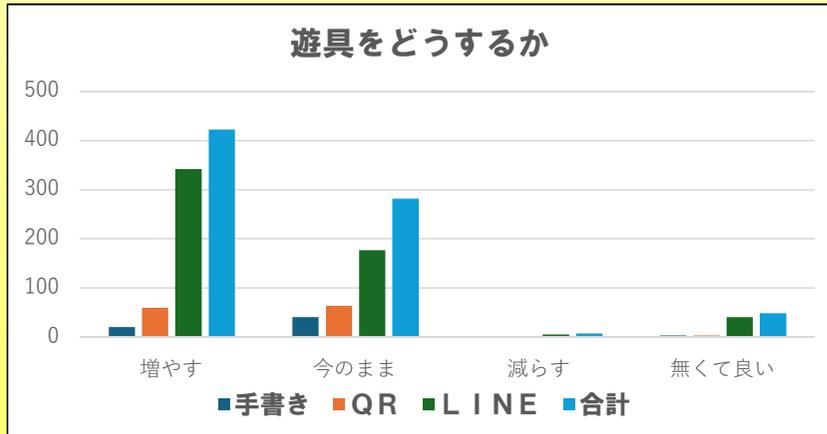
駅前広場をよく利用する世代が見えてくる



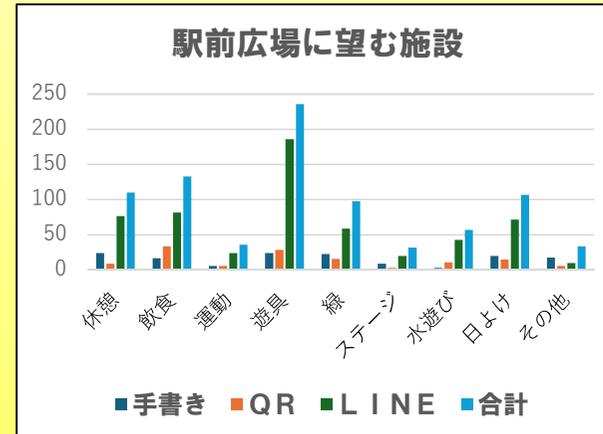
「使いやすい」「どちらとも言えない」で
80%占める



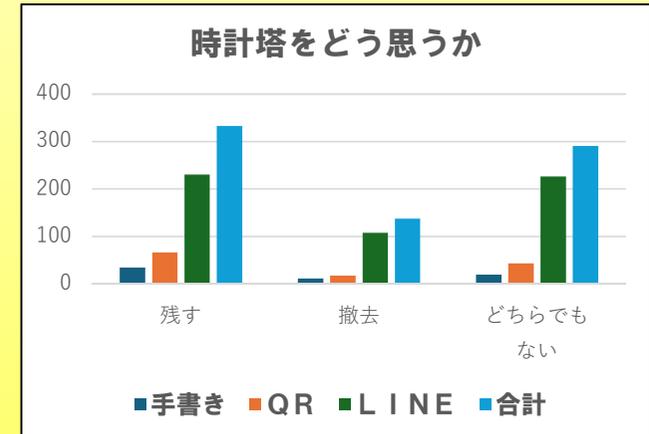
子育て世代の方が日常的に遊具利用



遊具については「増やす」「今のまま」が90%以上



望むものとして「遊具」「日よけ」
「飲食場」など



時計が故障、巨大地震を見据え撤去

西尾駅東駅前広場整備事業（新規）

1 事業年度 令和6年度

2 事業費 2,000万円

【財源内訳】

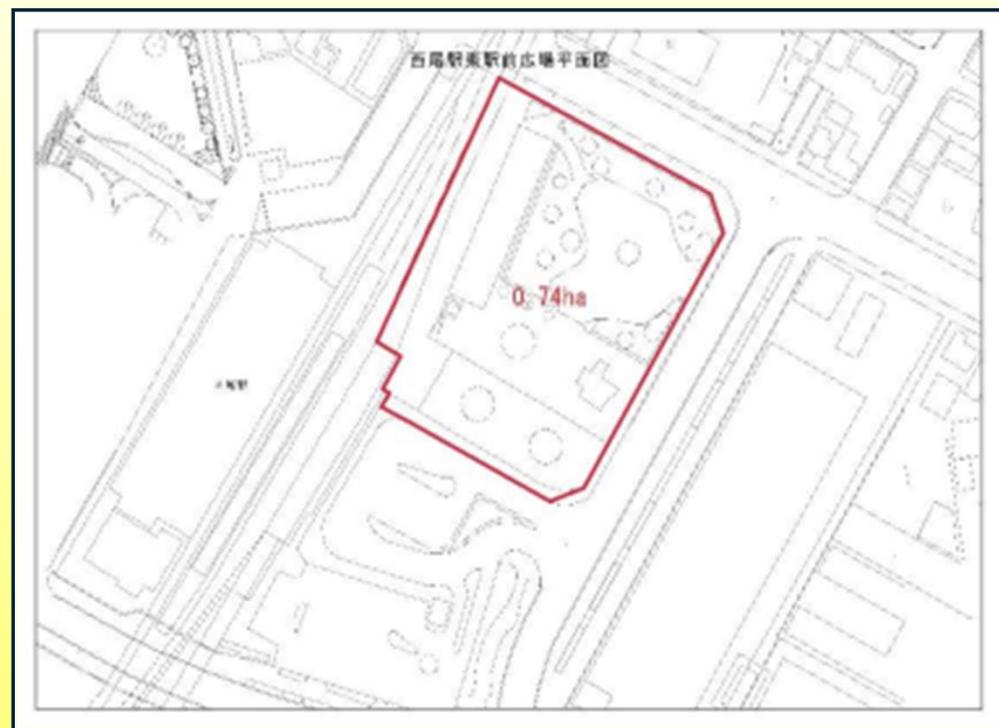
国	860万円
地方債	1,200万円
一般	120万円

3 事業の目的

西尾駅東駅前広場を活用し、多世代の人が交流できる居場所として、魅力のある滞留空間や交流が生まれる拠点づくりとなる広場の再整備を行い、中心市街地の活性化を図る。

4 事業の概要

西尾駅東駅前広場整備面積	0.74ha
令和6年度	実施設計業務
令和7年度・8年度	整備工事



西尾未来共創拠点「ニコラボ」

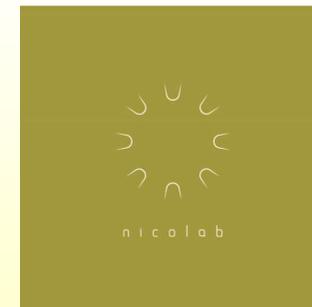


「新たな魅力に挑戦するまち」

商工業の振興施策として、中小企業の持続可能な経営並びに市内での起業創業及び新産業創出並びに、中心市街地の活性化を図るため。支援する二つの目的



西尾未来共創拠点「ニコラボ」



「ニコラボ」に込めた思い

ニシオ+コラボ+ラボ。

人と人がつながり価値を作り出すイノベーター的な取り組みであることを示すため

「共同作業」を指す"collaboration"の「コラボ」、

「実験室, 研究室, 研究所」を指す"laboratory"の「ラボ」に

「ニシオ」という言葉を繋げました。

「ニコラボ」の響きのイメージは微笑みを指す「にっこり」を連想させ、

まさに西尾の未来に笑顔をもたらす施設になってほしいと願いを込めた名称です。

とも
伴に走り
とも
共に笑顔に

西尾未来共創拠点「ニコラボ」は、西尾市が運営する市内の事業者に向けた無料の経営相談窓口です。事業者が抱える経営の悩みや、起業・創業を考えている方の相談に応じ、各分野の専門家が伴走型でサポートします。

無料相談・予約

<https://nishio-nicolab.jp/>

西尾未来共創拠点「ニコラボ」



こんなお悩みを無料で相談できます



売上向上・販路拡大

- 売上を伸ばしたい
- 販路を開拓したい



商品開発・新規事業

- 新たな商品を作りたい
- BtoC事業を検討したい
- 新しい分野に挑戦したい



広告宣伝・集客・SNS活用

- 自社をブランディングしたい
- 効果的な宣伝方法を知りたい
- SNSを活用して認知度を上げたい



事業承継・資金調達

- 事業承継を検討したい
- 資金調達の方法を知りたい



起業・創業

- 起業するための手続きを知りたい
- 創業支援の制度を知りたい
- ビジネスモデルを考えたい



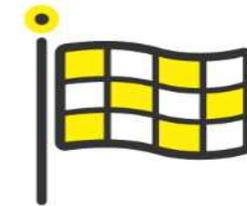
IT活用・DX

- デジタル化を進めたい
- DXを導入して自社業務を見直したい



人材育成・人材採用

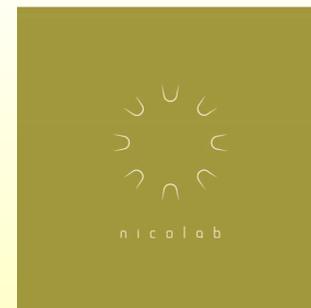
- 社員の能力向上を図りたい
- 人材育成の方法を知りたい
- 採用を増やしたい



経営改善・経営革新

- 会社の方針を見直したい
- 生産性向上を図りたい
- 利益率を上げたい

西尾未来共創拠点「ニコラボ」



未来共創拠点運営事業 約3,700万円

内訳: 専門アドバイザー謝礼	240万円		
ビジネスコンテスト業務委託料	784万円	ビジネスコンテスト賞金	216万円
施設使用料	264万円	ホームページ運営管理委託料	150万円
光熱水費	263万円	顧客管理システム	224万円
事業者支援補助金	1,000万円	備品	100万円

今後は、この拠点を中心に、事業者や市民がつながり、
西尾商工会議所、一色町商工会、西尾みなみ商工会、西尾信用金庫との
5者連携を始め官民連携により地域経済を支える地元企業が競争に打ち勝つ土台を築くとともに、
中心市街地の賑わい創出とエリア価値の向上を見守っていききたい。

名鉄西尾・蒲郡線対策事業 ★にしがま線の現状報告★



- ・名鉄西尾・蒲郡線：西尾～吉良吉田、吉良吉田～蒲郡 までの区間
- ・令和4年度赤字額：約7億8千万円



- ・平成19年以降、各種利用促進を展開してきた結果 ⇒ 右肩上がりで推移。
- ・しかし、コロナ禍による影響を受け、利用者は大幅に減少。

★にしがま線の必要性★

- ・ 高齢者や学生など、交通弱者にとって絶対に欠かせない交通手段であること！
- ・ 西尾市・蒲郡市から名古屋市・岐阜市を結ぶ基幹的な公共機関であること！
- ・ 地域の活性化に必要な社会基盤であり、
もし廃線となれば西尾市の衰退が危惧されること！ など。



【もし鉄道が無くなってしまったら】

- ⚠ 移動に時間がかかるようになってしまう。
- ⚠ 送迎者の負担や交通渋滞が増え、環境面が危惧されてしまう
- ⚠ 行きたい学校、会社に行けなくなってしまう。
- ⚠ 地価の下落、人口流出や観光客が減り、まちが衰退してしまう。

西尾高校生徒による
名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク



★にしがま線の今後の対策★

- ・ 名鉄西尾・蒲郡線利用促進業務 1, 282万9千円 (令和6年度予算)
- ・ 鉄道施設維持管理費負担金 1億5, 068万7千円 (令和6年度予算)

【具体的な取組み】

- ・ 令和5年度に引き続き、**様々なモビリティ**を活用し、にしがま線の利用促進につなげる。
- ・ 令和6年5月～11月頃の間で、「**おでかけきっぷ**」企画を実施する予定。
 - ⇒ おでかけきっぷは、**小学生の親子**のおでかけや夏休みの思い出作りのきっかけを提供するとともに、**各公共交通機関(タクシー以外)**の利用方法を学んでもらう目的がある。
(利用予定 2, 000人)

一時的な鉄道の利用促進だけではなく、西尾市の魅力を含めた利用の検討を強く求めていきます。

地域が危機感を持ち、皆さんの想いを力に！